



ランベスの呼びかけ 弟子育成

1 はじめに

- 1.1 弟子とは、心、体および精神の学習者です。以下の呼びかけは、Lambeth Conferenceに集まった主教が、すべてのアングリカン・キリスト教徒に対し、それぞれの生活のあらゆる面で、イエス・キリストの愛があり、自由で、生命を与えるやり方を繰り返し学び、これについて主に従うことを求めるものです。主教がこの呼びかけを行うのは、次のようにペトロの手紙一がすべての神の民に対し、身を慎み、全人生にわたる弟子となることを求めているからです。

それゆえ、あなたがたは心を引き締め、身を慎み、イエス・キリストが現れるときに与えられる恵みを、ひたすら待ち望みなさい。従順な子として、かつて無知であった頃のさまざまな欲望に従わず、あなたがたを召し出してくださった聖なる方に倣って、あなたがた自身も生活のあらゆる面で聖なる者となりなさい。「聖なる者となりなさい。私が聖なる者だからである」と書いてあるからです。(ペトロの手紙一1:13~16)

- 1.2 これは厳しい求めです。なぜなら、私たちには、皆が直面する社会的・精神的戦いから来るプレッシャーがあるからです。しかし、手紙は、私たちが神の助けに頼ることができ、そして頼るべきであると次のように記しています。

語る人は、神の言葉を語るにふさわしく語りなさい。奉仕をする人は、神がお与えになった力に応じて奉仕しなさい。それは、すべてのことにおいて、イエス・キリストを通して、神が崇められるためです。栄光と力とが、世々限りなく神にありますように、アーメン。(ペトロの手紙一4:11)

ですからこの呼びかけは、すべてのアングリカン・キリスト教徒に対し、それぞれの生活のあらゆる面で、「神がお与えになった力に応じて」、聖霊によって与えられた力で、イエス・キリストの道を繰り返し学ぶことを求めるものです。

2 宣言

- 2.1 イエスは弟子たちに、「だから、あなたがたは行って、すべての民を弟子にしなさい」と教えました。今日のアングリカン・コミュニオン規模と広がり、世界中のアングリカン・キリスト教徒が、情熱と覚悟を持って歴史にわたりこのことを行ってきたことを示しています。

- 2.2 しかしながら、キリスト教徒の覚悟は、「幅は1マイルあるが、深さはたった1インチである」という人もいます。たとえば、多くの場所では、キリスト教徒の覚悟は名目的であると見られてきました。これに対応するために、2016年にルサカで開催されたアングリカン諮問評議会において、意図的弟子育成期間 (Jesus-shaped life (イエスの形の生活)) が開始されました。

弟子育成のための福音と神学的義務を踏まえて、(私たちは) アングリカン・コミュニオンのすべての管区・主教区・教区が意図的弟子育成に注意を向け、教会全体が新たにイエス・キリストの弟子を育成できるよう制度を整備することの必要性を認める。(ACC-16決議16.01) 。

- 2.3 これは2019年に香港で開催されたACC-17で再確認されました。この期間は2026年のACC-19までの予定です。これまでにアングリカン・コミュニオンの100を超える主教区と42もの管区が意図的弟子育成を重要優先事項として正式に採用したり、このテーマに関する会議やワークショップを開催したりしています。少人数のグループによるものが中心です。アングリカン・コミュニオンはこの期間およびJesus-shaped life (イエスの形の生活) を支えるための多くのリソースを開発しています (www.anglicancommunion.org/mission/intentional-discipleship.aspx)。

- 2.4 世界中の他の多くの教会も、弟子育成を充実させる必要性に対応しています。世界教会協議会の2018年の弟子育成に関するアレーシャ呼びかけは、アングリカン・キリスト教徒も参加して実現した呼びかけですが、このことを力強く表現しており、その中で、「私たちは洗礼により弟子育成を変革することを求められています。多くの人々が絶望や拒絶、孤独、無価値観に直面する世界においてキリストとつながる生き方ができるように」と宣言しました。ⁱⁱ ローマ教皇フランシスコもすべての神の民が伝道に献身する弟子になるよう呼びかけ、この呼びかけをその聖務の中心に置いています。ⁱⁱⁱ
- 2.5 意図的弟子育成期間に入り多く分かってきたことは、宣教の5つの指標が、キリストの方法を学び、それに従うための刺激となり、統一的な案内になるということでした。したがって以下の呼びかけは、アングリカン・キリスト教徒がそれにより形作られ、Jesus shaped life (イエスの形の生活) にますます生き、共有できるよう呼びかけるものです。

3 確言

Lambeth Conferenceに集まった私たち主教は、この意図的弟子育成期間において、私たちの生活のあらゆる面で、神がお与えになった力に応じて、イエス・キリストの愛があり、自由で、生命を与える方法を、祈りと言葉と sacrament を通じて繰り返し学ぶことに努力を傾けます。そうすれば、聖霊によって私たちがイエスに従うことを新たにでき、私たちの主教区の人々も同じことをするように励まされます。

4 具体的要請(呼びかけ)

- 4.1 私たちはすべてのアングリカン・キリスト教徒に対し、この意図的弟子育成期間において、私たちの生活のあらゆる面で、神がお与えになった力に応じて、イエス・キリストの愛があり、自由で、生命を与える方法を、祈りと言葉と sacrament を通じて繰り返し学び、そのことにより聖霊によって私たちがイエスに従うことを新たにでき、私たちは他の弟子たちを育成することができるようにすることを呼びかけます。これには生涯の学習が必要であり、私たちの使命であると認識しています。私たちは特にアングリカン・キリスト教徒に対し、アングリカン・コミュニオンの生活のルールとして、宣教の5つの指標により、常に思慮深く、文脈的に適切な表現を通じて習得する習慣として形づくられるよう次のように呼びかけます。
- 話す - 御国の福音を告げ知らせる。
 - 教える - 新たな信者に教え、洗礼し、育てる。
 - 仕える - 癒しの務めを含め愛ある奉仕によって人間のニーズにこたえる。
 - 変える - 社会の不公正な構造を変え、あらゆる暴力に挑戦し、平和と和解に取り組む。
 - 大事にする - 被造物の完全性を守り、地球の生命を維持し新たにします。
- 4.2 私たちはすべての指導者、信徒および聖職者に対し、私たちの礼拝と典礼が意図して私たちの心、体および霊の中で形作られ、変容する場となることを可能にし、特に洗礼礼拝の契約に焦点を当て、Jesus-shaped life (イエスの形の生活) を送り、そのことにより、新たに洗礼を受けた人々が、キリストとともにある新しい生活の中で、会衆の支援を確実に受けることができるように呼びかけます。
- 4.3 私たちは主教区に対し、弟子育成における形成のためにも教区が小さいグループを設立・拡大することを助け、職場や学校、コミュニティを含め、それぞれの状況に適した、オンラインおよび対面での、日常生活での弟子育成への他の「入り口」を提供し、支援することを呼びかけます。小さな子供の信仰育成のためのリソースも必要です。
- 4.4 私たちは私たちの教会のすべての人々に対し、若者たち、学校、会衆および地域社会との深い関係を意図して維持し、弟子育成における上位の人々から、そして女性から、社会から取り残された人々や貧しい人々から学び、そのことによって、この学びと変革が教会全体で起き、すべての人がキリストからの賜物を見つけ、キリストに従いつつそれらを効果的に使うことができるようすることを呼びかけます。



- 4.5 私たちはすべての神学校、神学大学、そして研修課程に対し、弟子育成を中心に据えるよう求め、学習と教育のプログラムを再構成し、すべての聖職者、新任聖職者と平信徒が、特に説教を通じて、そのようなことを学ぶことができるように呼びかけます。
- 4.6 私たちはアングリカン・コミュニオン・セクレタリー・ジェネラルに対し、意図的弟子育成期間のコミュニオン全体での促進を通じて、宣教・弟子育成委員会の支援を得て、これらの分野の進展を促して支援し、管区が積極的に意図的弟子育成を進める間、次回ACCおよび次回Lambeth Conferenceで報告するよう呼びかけます。

5 実施

この呼びかけを受け、実施するにあたって、管区や主教区は、具体的な作業を行う必要があります。たとえば、どのような小規模グループの形成がそれぞれの環境で最も効果的か。チャーチ・プランティングの可能性は何か。大学、神学校、プログラムが卒業生に徐々に浸透するために必要な能力は何か。

後注

- i. ACC-16決議16.01
- ii. R. Jukko and J. Keum, *Moving in the Spirit* (霊の下で動く): WCC 2019
- iii. *Evangelii Gaudium* (エヴァンゲリ・ガウディウム: 福音の喜び), 2017